



突然の豪雨雷鳴にも「神仏の激励を得た」と祈り続ける大樹孝啓天台座主猊下と各宗教指導者



発行所
比叡山時報社
〒520-0116 大津市坂本本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会

会報

年会会費(3000円)中
に会報(比叡山時報)
購読料を含む。

令和4年比叡山から
発信する言葉
大悲
万行
すべての行いは大悲から

ホームページから



購読は延暦寺

八月四日、比叡山において、本年度三十五回目を数える「世界宗教者平和の祈りの集い」が開催されました。日本の宗教代表者を始め、世界各国から参加した各宗教指導者を含む約500名が山上に集まり、世界の平和について一心に祈りを捧げました。

新型コロナウイルスによって世界が不安の渦に飲み込まれた昨今、海外ではロシアとウクライナの問題、国内では元首相襲撃事件、といった痛ましい出来事が起こりました。昭和の戦前・戦中の雰囲気をも思わせるかのようなこの状況において、一体、宗教者は何をすべきなのであるでしょうか。その問いかけに答えるべく、「平和の祈りの集い」では数多くの方々が、真摯なお気持ちを表し黙祷しました。

宗教は心の支えの一つであります。東日本大震災以降、多くの方が手を合わせ、黙祷する姿は記憶に新しいでしょう。では、「祈り」に力はあるのでしょうか。目に見える「物理的な力」に頼って生きている現代人には、聊か難しい問いかも知れません。しかしながら、目に見えない「精神的な力」は確かに存在します。科学的・物理的・医学的という切り口で数値化できるものは、諸法実相の中のほんの一部、「氷山の一角」であるに過ぎません。そして、人類は長い時間をかけて、「見えざる力」を言語化する努力を続けてきました。仏教における八万四千の法門と云われる数多くの教えは、その努力の結晶と言えるでしょう。

宗教者は、「目に見える力」と「目に見えざる力」とを繋ぐ結節点に立たされることが多く、当然、人間であるために「迷い」が生じます。その際、諸々の聖典を拠り所として前へ進もうとします。自然と、「祈り」を捧げるといふ行為に行きつきます。「祈り」なくしては、生きられないのかも知れません。

ただ、これは何も宗教者に限った事ではありません。人は誰もが迷い、誰もが不安と闘い、誰もが心の安寧を求めます。それを「祈り」という形を通して、他者を排斥せず、相手に敬意をもって、多くの人々が目指す安心・安全な生活へと好循環させていく。平和実現の第一歩がここにあります。

殺伐とした現代社会において、今一度、ピュアな気持ちで「祈り」に接し、自分自身の至らなさを見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。

祈りは世界平和実現の第一歩

